

道徳だより



穴水町立向洋小学校

第6号

H30. 7. 13

4・5年生はこんな授業をしました



主題名「みんな違って みんないい」
個性の伸長



「うめのき村の四人兄弟」

4・5年生は、資料「うめのき村の四人兄弟」をもとに、自分たちのいいところについて話し合いました。

☆あらすじ

うめのき村の四人兄弟が、それぞれの長所や能力を発揮して協力することによって、嵐から村を守ることができました。そして、1人1人の活躍ぶりについて、おとうから大いに褒めてもらえたというお話です。

子どもたちは授業に入る前、「自分にはいいところはない」「見つからない」という様子でした。そこで、お話に出てくる4人の兄弟、いちろうた・じろうた・さぶろうた・しろうたの長所や能力を押さえながら、「どうして嵐を乗り越えることができたのか」について考えました。子どもたちは、「協力したから」「それぞれにいいところがあったから」「いいところを生かしたから」と長所を生かしたからこそ、嵐を乗り越えることができたということに気付いていました。

そのあと、「自分たちにはどんないいところがあるかな？」と問い、自分たちのいいところについてグループになって話し合いをしました。「〇〇ちゃんは、字がきれいだよね」「〇〇くんは優しく、いつも助けてくれるよね」「いつもおもしろいね」「心配りができるよね」と教えてもらいました。子どもたちは、自分では気付くことができなかったいいところに気付くことができた様子でした。



～子どもたちのふり返りより～

- 私にはあまりいいところはないと思っていたけれども、友達が私のいいところをたくさん見つけてくれたので、よかったです。
- 自分にはいいところがいっぱいあることを知って、そのいいところを何かに生かしたいと思いました。
- いいところをたくさん見つけることができたので、いいところを伸ばしたいです。例えば、絵が上手と言われたので、委員会のポスター作りなどで生かしていきたいです。